

先進事例から考える

NPO法人への寄附税制優遇条例

日時:3月24日(木) 14:00~17:00 会場:みやぎNPOプラザ 交流サロン

県や市町村が条例でNPO法人を指定すると、そのNPO法人への寄附金に税制優遇がつく制度があります。この制度をうまく活用し、NPO法人への寄附金額の増加を進めている先進自治体の活用例をもとに、今後県内でもこの制度が上手く活用されるにはどうしたらよいかを考えてみませんか？

●内 容：
【調査報告】
みやぎNPOプラザが実施した都道府県、政令指定都市におけるNPO法人条例個別指定制度の調査から概要を紹介
【パネルトーク】
「認定NPO法人と条例個別指定の関係～京都と札幌の事例から～」

●対 象：テーマに関心のある方ならどなたでも
●定 員：40名（先着順）
●参 加 費：無料
●申込方法：件名を「3/24シンポジウム参加申込」として、氏名、所属、電話番号を記載の上、みやぎNPOプラザまでメール・FAX、もしくは直接TELにてお申込み下さい

【パネリスト】

■鈴木康久氏
（京都府府民生活部府民力推進課長）

■長尾隆男氏
（札幌市地域振興部市民自治推進室
市民活動促進担当課NPO法人審査担当係長）

【コーディネーター】

■大久保朝江
（みやぎNPOプラザ館長/認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事）

■会計・税務相談 → 3/12(土)、4/22(金)

日々の会計業務から決算書の作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい公認会計士、税理士がご相談をお受けします。

◎相談対応：3月12日(土) 成田由加里氏(公認会計士/税理士)
4月22日(金) 平野由紀子氏(税理士)

●時 間：13:00~17:00(相談時間：1団体1時間程度)
●費 用：無料
●申込締切：開催日の6日前

■新規のNPO法人認証団体(2015.12.11~2016.2.10)

団 体 名	所在地	活 動 内 容	認証日
宮城県等	高橋園	石巻市 高齢者や障害者等を対象に生活支援事業を行うもの	1/22

団 体 名	所在地	活 動 内 容	認証日
仙台市	スポーツ医科学ネットワーク	青葉区 競技団体、チーム、クラブ活動の健診事業/スポーツ現場でのサポート事業/スポーツ障害、スポーツ医科学に関する講習会、啓発活動に対する事業 等	12/14
仙台市	ぞうさんの家	宮城野区 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業の経営/創作活動の場の提供/障害がある児童、生徒、成人の教育に関する連携と啓発活動 等	12/18
仙台市	日本演劇情動療法協会	宮城野区 認知症患者や鬱病などの患者等への演劇情動療法を通した支援活動/地方自治体、病院、福祉団体等との協働による演劇情動療法の普及活動/情動療法を行うプレイヤー及びアシスタントの派遣事業 等	1/6
仙台市	プラムナーサリー	青葉区 子どもの健全育成を目的とした保育事業/その他目的を達成するために必要な事業	1/8

■設立運営相談 → 毎週水曜日

NPOの設立や法人申請書類の書き方、組織運営や資金の確保・会計など、NPOが活動の中でぶつかる様々な問題について、乗り越えるためのアドバイスをいたします。

◎相談対応：NPO運営アドバイザー

●時 間：13:00~17:00(相談時間：1団体1時間程度)
●費 用：無料
●申込締切：開催日の6日前

団 体 名	所在地	活 動 内 容	認証日
仙台市	おひさまの丘 宮城シュタイナー学園	青葉区 シュタイナー教育を実践するおひさまの丘 宮城シュタイナー学園の運営事業/シュタイナー教育の研究及び普及活動事業/シュタイナー教育に基づく教員養成事業及びその支援事業 等	1/8
仙台市	宮城更生保護社会 活動支援センター	青葉区 若者たちに、住居を提供し協働の生活を営ませ新たな技能、技術を習得、さらに収益も考えさせ生活を確立させる事業/若者たちが文武に親しみ、智、徳、愛の教育を受け本人が誇りを持ち将来社会に役立つ人材に育てる事業/若者たちに自然の恩恵を体験させ認識させる事業 他	1/26
仙台市	中山街づくりセンター	青葉区 地域助け合い支援事業/高齢者の福祉増進に関する事業/子育て支援に関する事業 等	1/28

宮城県のNPO法人数 801団体 (平成28年2月10日現在)

宮城県等所轄383団体 仙台市所轄418団体
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

■新たに認定・仮認定NPO法人を取得したNPO法人

●認定/NPO法人あかねグループ(若林区)
●認定/NPO法人Switch(宮城野区)

【お問い合わせ】

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp

発 行 日：2016年3月1日

発 行：宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)

発行部数：3,000部

編 集：認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

編集スタッフ：大西直樹 堀川晴代 後藤和広

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。

One
to
One

2016.3 vol.90

One to One

地域課題に取り組むための「協働」のあり方とは？



▶ゲストからの話題提供には会場の参加者も興味津々

1月27日（水）、宮城県が主催する「協働促進フォーラム～福祉のあるまちづくり～」が開催されました。NPO、企業、行政それぞれのセクターから68名が参加し、共通する地域課題を解決するべく、立場を越えた協働がもたらす「福祉のあるまちづくり」とは何かを考えました。

フォーラムの前半では、他県で先進的な取り組みを行っているNPOや自治体の担当者をゲストにパネルディスカッションが催され、後半は参加者がグループに分かれて、テーマに沿った情報交換を行いました。

■三者三様の居場所づくり

パネルディスカッションのゲストは3名。東京都練馬区のNPO法人むすび理事である荒川直美さん、群馬県太田市のNPO法人よろずや余之助会長の桑原三郎さん、神奈川県横浜市戸塚区役所地域振興課長、高嶋賢一さんです。

この3名のゲストに共通するのは、地域の中の居場所づくりを「協働」によって進めてきたこと。

NPO法人むすびは東京都練馬区にある光が丘団地で認知症カフェや麻雀教室など、とすると孤独になりがちな高齢化した団地住民たちが気軽に集える場を、他団体や新聞社、学生などと一緒に作ってきました。

NPO法人よろずや余之助は、その名の通り、かつてはどの地域にもあった“そこに行けば何でも揃う店”をイメージした団体です。異業種の専門家が集う人脈の強みを活かして、コミュニティカフェ「余之助茶屋」を拠点に、行政手法とは異なる「余之助流」のやり方で地域のあらゆるニーズに応えてきました。

また、高嶋さんからは横浜市戸塚区内で自治体とNPO間の協働で進められてきたコミュニティカフェづくりの経緯が紹介され、個々の具体例を通して、コミュニティカフェには「きっかけ」「受け止め」「おせっかい」「つなぐ」という4つの社会的機能があるという報告がありました。

■テーマ別の情報交換会

後半の情報交換会でのテーマは2つ、「介護保険制度と地域のささえあい」「協働による社会づくり（若者からシニアまでをどのように巻き込むか）」です。「介護保険制度と地域のささえあい」について話し合ったグループからは、NPO側からのとくに通所介護事業の運営が厳しくなっているという話や、従来とは異なり、制度改正によって生活支援サービスへの対応を委ねられることになった自治体側の戸惑いの声も聞かれました。

「協働による社会づくり」について情報交換をしたグループでは、自宅にこもりがちな高齢者を巻き込むには地域を小分けにした生活圈レベルでの居場所づくりが求められるという話や、若者と高齢者の相互交流を上手く活用することが地域全体を巻き込むコツであるといった話がありました。

現在、介護保険制度改正による新たな高齢者介護への対応や少子高齢化による限界集落化など、地域が抱える課題は多岐に渡ります。このような背景のもと開かれた今回の協働促進フォーラムでは、そうした課題に対して協働して取り組む必要性を感じている参加者の多さを窺い知ることができました。

NPOへの支援力を強化する！ 「中間支援組織等の機能強化セミナー合宿」開催

▶1日目に行われた、ボランティアコーディネーターについてのワークショップ



宮城県が主催し、認定NPO法人杜の伝言板ゆるるが企画実施を担う「中間支援組織等の機能強化セミナー」が、2月4日（木）～5日（金）に、東北自治総合研修センターで開催されました。

東日本大震災から5年が経ち、復興支援に取り組むNPOを取り巻く環境は、活動資金の確保をはじめ厳しさが増えています。また、震災復興に限らず、地域に山積する様々な課題解決に向けて、NPOは日々活動を続けています。

NPOの中間支援に携わるスタッフには、そのようなNPOが地域社会で継続して活動ができるよう、多角的にサポートする力が求められます。このセミナーは、そのために必要なスキルを学び、宮城県内のNPO中間支援組織やNPO支援センター、自治体担当課との交流や情報交換を通して、ネットワークを強化することを目的に開催されました。

セミナーには、県内の7箇所のNPO支援センターから13名、東松島市、名取市、利府町、柴田町、宮城県の職員7名が参加。それぞれの地域特性やNPO支援の進め方に違いはあるものの、「NPOをもっとよく知り、NPOが存分に力を発揮できる環境をつくりたい」という共通の思いのもとに集まりました。

■支援力を上げる3つの学び

セミナーは2日間にわたり、3つのテーマを掘り下げて学びました。最初の講義、「NPO支援センターの役割と意義」の講師は、認定NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会の理事・事務局長の手塚明美さんです。

NPO活動は市民を巻き込み、企業、行政などの多様なセクターと連携することで、より効果的に成果が得られます。「中間支援の機能は、双方の利益をマネジメントする“問屋”であり、組み合わせを調整する“仲人”であり、力を発揮できるように養成する“プロダクション”であり、それを果たすことに期待が寄せられています」と手塚さんは話しました。

「NPOのボランティア・コーディネートを支える」の講師は、認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会事務局長の後藤麻理子さんです。人手を賄うためのボランティア・コーディネートを脱し、NPOの理解や共感の拡大につなげるコーディネートスキルをワークを交えて学びました。

2日目の「NPOの経営を財務諸表から知る」は、公認会計士・税理士の中村元彦さんが講師でした。NPO法人会計基準のベースとなっている簿記の仕組みを学びつつ、ワークでは実際に架空の団体の決算書からその団体の経営状態を推測するという内容でした。

これらの講義で、NPO支援の理念に触れ、支援の強化につながるスキルを学ぶことができました。

■支援のためのネットワークづくり

夜に行われた交流会は、それぞれの現場の悩みや課題について語り合い、また講師にアドバイスをもらうなど有意義な時間となりました。

NPOの支援には、県内の支援者同士の顔が見え、情報を交換・共有できる関係であることも大切です。参加者の立場は様々でしたが、それを超えて信頼関係を築き、NPO支援について改めて考えることができる2日間でした。

ここで得た学びが、地域のNPOが力を存分に発揮できるような支援につながることが期待されます。



▶1日目にはみっちりNPO会計を学びました

助成金 知っておこう！ の申請と活用のポイント

採択

みやぎNPOプラザでは、2月17日（水）に「組織を強くする！NPOのための助成金活用講座」を開催しました。講師は、NPO法人CANPANセンター代表理事の山田泰久さんです。今回は、山田さんの講座をもとに、助成金の申請や活用に役立つポイントをまとめました。

●団体のステップアップのために！

多くの団体は、助成金を申請する際に助成期間に限定して事業計画を立ててしまいがちです。しかし、助成する側は、助成期間が終わった後こそ団体やその受益者にどのような成果が残るのか、効果がどのように波及するのかを重視します。そのため、団体がよりステップアップするための組織基盤の整備や人材育成、新規事業開発など、後々まで成果や効果が期待できる事業の方が採択されやすい傾向があります。

審査する側にもイメージしやすいように、取り組む課題や実施する事業の展開と成果が、時間軸に沿ったストーリーとして申請書の中でまとめられていることが大切です。

●日頃の情報収集と情報発信を！

団体の活動に見合った助成金が年間どのくらいあるのか、それらはいつ募集されるのか事前に把握し、準備を整えましょう。申請を考えている助成金に過去にどのような団体や事業が採択されているのかを調べ、

自団体のミッションや事業目的がその助成機関のミッションと合致しているのかをしっかりと見極めることも重要です。

全国規模の助成プログラムでは、インターネット上で団体情報がしっかりと公開されているか、インターネットを活用した情報発信力が備わった団体なのかどうかも重視されることが増えています。

●採択されたら徹底活用！

採択されたら助成金を徹底活用し、団体のための資産を作りましょう。助成事業を通じて得られたコネクションや事業に関するノウハウなどは、助成期間終了後も団体に残る貴重な資産となります。また、助成事業の成果を団体のホームページやパンフレットにまとめ、しっかりと外に向けてアピールすることで、実績のある団体とみなされ、次の助成金獲得にもつながります。

山田さんが過去に助成金のセミナーで使用した資料は、下記のサイトで公開されています。助成金を活用し、団体の更なる成長を図りましょう！

助成金に関して押さえておきたいプレゼン資料一覧
<http://blog.canpan.info/c-koza/archive/517>

3/27 (日) 伝えたい!がんばる宮城のNPO

あなたの身近で復興・被災者支援や地域課題の解決等に取り組んでいるNPO法人等を知っていただくため、右記の「成果報告会」と「活動紹介」を開催します。NPO関係者や企業のCSR担当者、自治体関係者、NPOやボランティア活動に関心をお持ちの県民の方々など、多数のご来場をお待ちしています。

平成27年度「震災復興担い手NPO等支援事業」成果報告会・情報交換会

平成27年度「宮城県震災復興担い手NPO等支援事業」に採択された13団体による復興・被災者支援の取組をご紹介します。
※関心を持たれた団体の活動報告だけにご参加いただくことも可能です。各団体の報告の順番・時間帯については、県のホームページ等に後日掲載します。

- 日 時: 2016年3月27日(日) 10:00～16:30
- 会 場: TKPガーデンシティ仙台 ホールB-2(仙台市青葉区中央1-3-1 アエル21階)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 参加希望の方は、氏名、所属、住所、電話番号、メールアドレス、FAX番号をご記入の上、下記宛先まで電話、FAXまたはE-mailでお申し込みください
※当日の参加申込みも承りますが、できるだけ事前のお申込みをお願いします
- 申 込 先: 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327 E-mail: npo@yururu.com

認定NPO法人(特定非営利活動法人)の活動紹介

県内の認定・仮認定NPO法人19団体の活動をご紹介します。展示と、ステージ発表を行います。様々な地域課題や社会問題の解決に挑戦するNPO法人の生の声を聞くことができるチャンスです。

- 日 時: 2016年3月27日(日) 11:00～16:30
- 会 場: アエル アトリウム(仙台市青葉区中央1-3-1 アエル2階)
- 参加費: 無料・申込み不要

【共通事項】
主催: 宮城県

企画・実施・問合先:
認定NPO法人杜の伝言板ゆるる